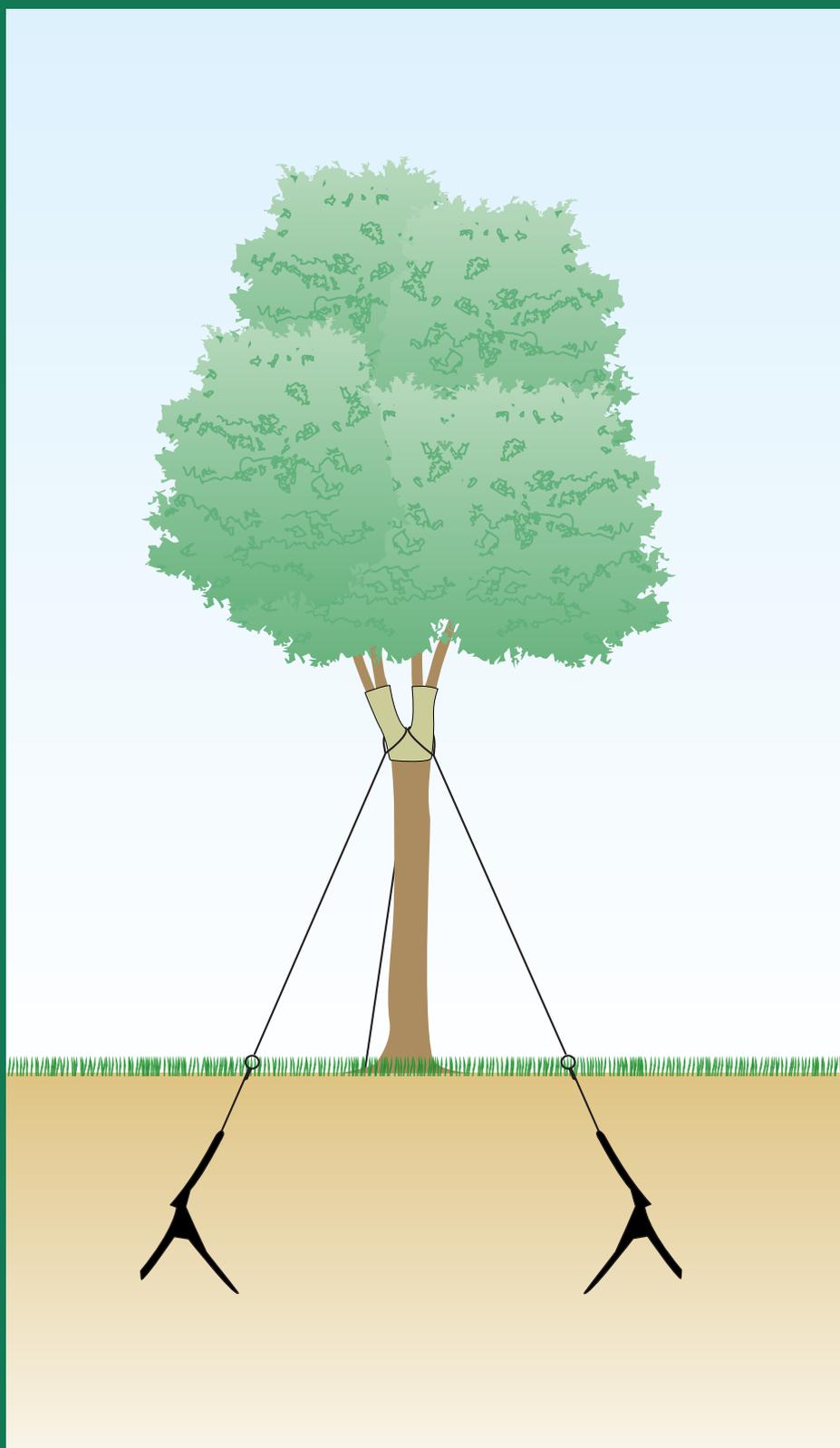


子コ-ワイヤ-支柱



日本地工株式会社

強い地耐力

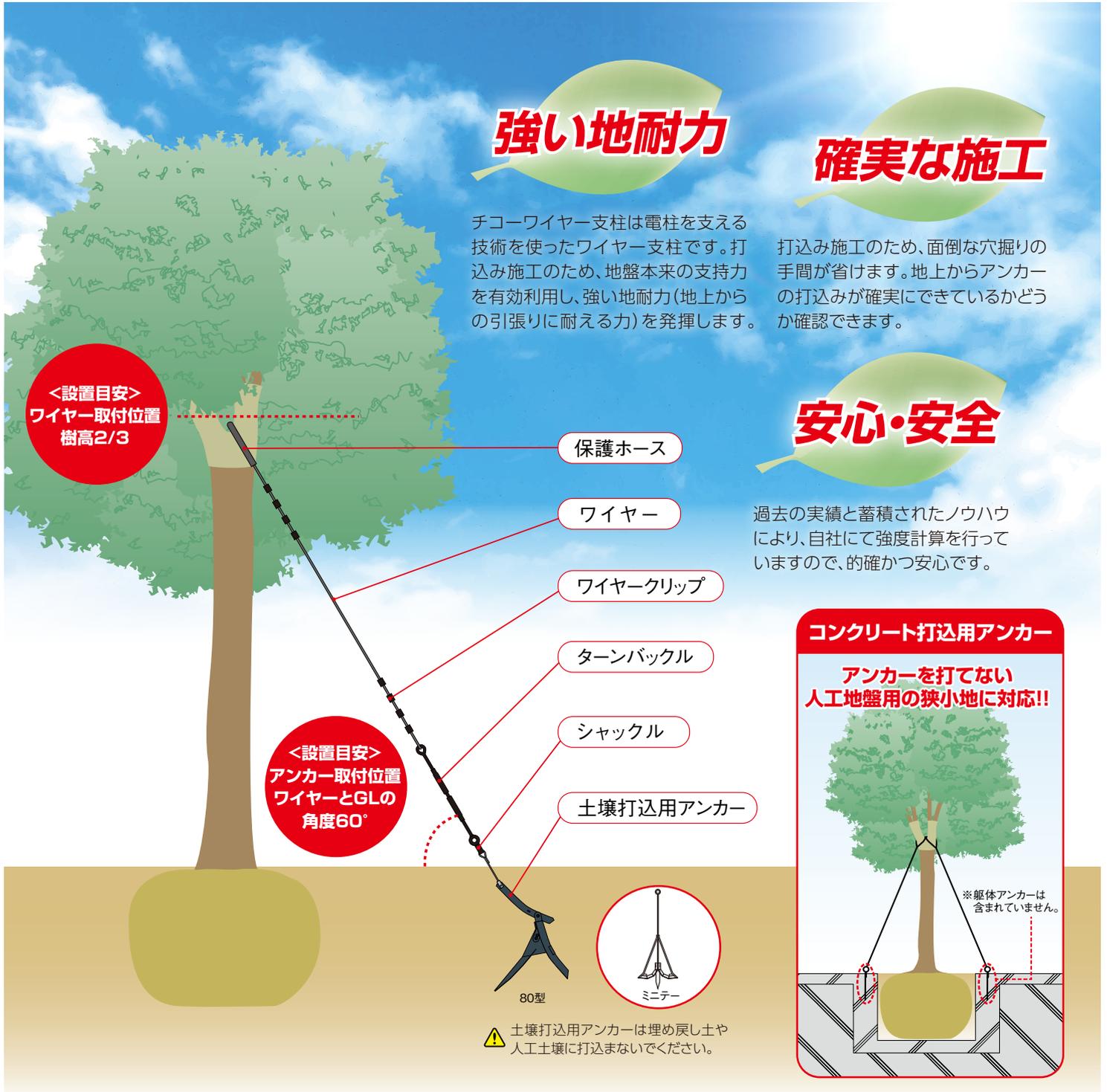
チコーワイヤー支柱は電柱を支える技術を使ったワイヤー支柱です。打込み施工のため、地盤本来の支持力を有効利用し、強い地耐力(地上からの引張りに耐える力)を発揮します。

確実な施工

打込み施工のため、面倒な穴掘りの手間が省けます。地上からアンカーの打込みが確実にできているかどうか確認できます。

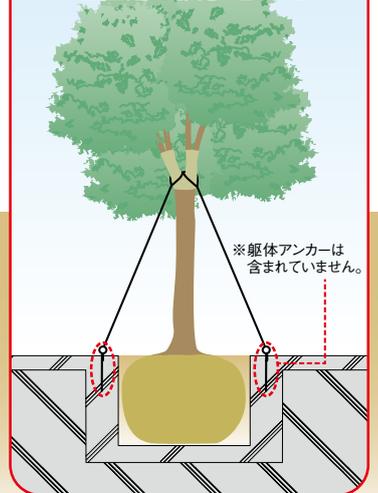
安心・安全

過去の実績と蓄積されたノウハウにより、自社にて強度計算を行っていますので、的確かつ安心です。



コンクリート打込用アンカー

アンカーを打てない人工地盤用の狭小地に対応!!



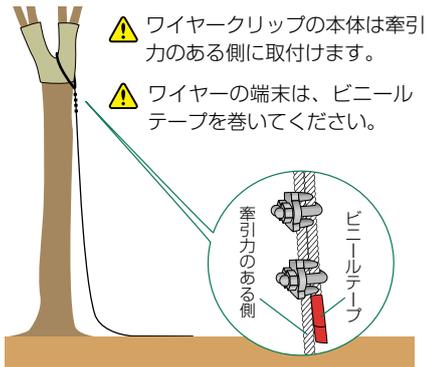
【標準セット】 ※標準セットのワイヤーは3本掛けですが、樹木によっては変わる場合があります。

規格	樹高 (m)	アンカー※1		ワイヤー※2		ワイヤークリップ※3		ターンバックル※3		シャックル※3		保護ホース※4	
		号数	(個)	サイズ	(m)	サイズ	(個)	サイズ	(個)	サイズ	(個)	内径サイズ	(m)
CW-1	6.0	ミニテ1号	3	4-6mm	18	6mm	24	W3/8	3	9mm	3	12mm	1.5
CW-2	8.0	ミニテ2号	3	6-8mm	24	8mm	24	W3/8	3	9mm	3	12mm	2.4
CW-3	10.0	80型-3号	3	9-11mm	33	10mm	24	W1/2	3	12mm	3	12mm	3.0
CW-4	12.0	80型-4号	3	9-11mm	39	10mm	24	W1/2	3	12mm	3	12mm	3.6
CW-5	13.0	80型-5号	3	10-12mm	42	10mm	24	W5/8	3	16mm	3	15mm	3.9
CW-6	14.0	80型-6号	3	10-12mm	45	10mm	24	W5/8	3	16mm	3	15mm	4.2
CW-7	16.0	80型-7号	3	10-12mm	48	10mm	24	W5/8	3	16mm	3	15mm	4.8
CW-7-4 (4本使用)	20.0	80型-7号	4	10-12mm	80	10mm	32	W5/8	4	16mm	4	15mm	8.0

※1. コンクリート打込用アンカーの場合、アンカーは含まれていません。※2. ワイヤーはビニール被覆ワイヤー（黒色）。※3. ワイヤークリップ・ターンバックル・シャックルは溶融亜鉛メッキ後、黒色ラスパート処理。※4. 保護ホースは黒色。※樹木保護用の幹巻きテープは取り扱っておりません。

ワイヤーの張り方 (全タイプ共通)

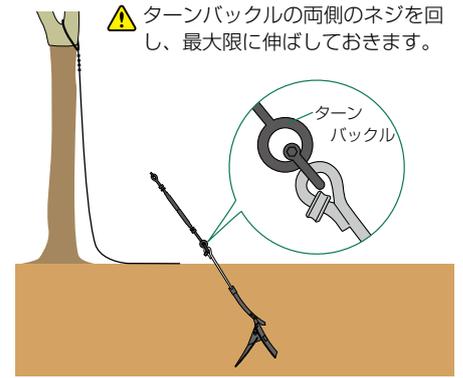
1 ワイヤーと保護ホースを樹木の幹に取付け、樹木側のワイヤーの先端をワイヤークリップで留めます。



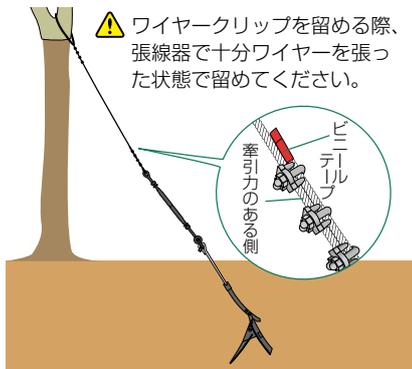
2 アンカーにシャックルを取付けます。



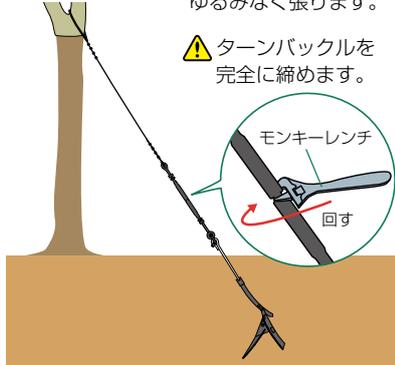
3 シャックルにターンバックルを取付けます。



4 ターンバックルにワイヤーを取付け、ワイヤークリップで留めます。

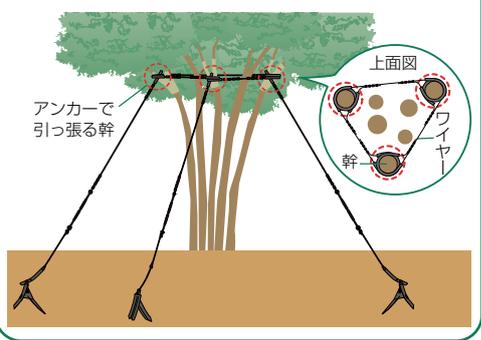


5 ターンバックルの真ん中のへこみにモンキーレンチを挟み、ワイヤーをゆるみなく張ります。

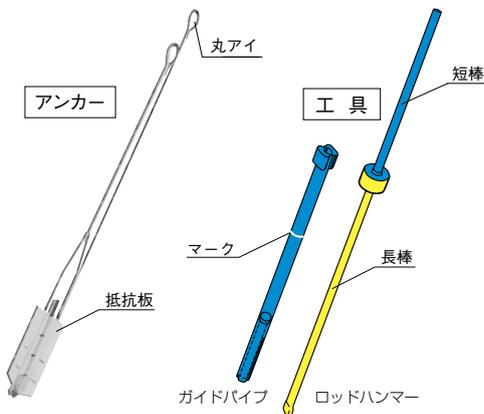


株立ちの場合

アンカーで引っ張る幹同士を、ワイヤーで横方向に結束し、幹裂けを防止してください。



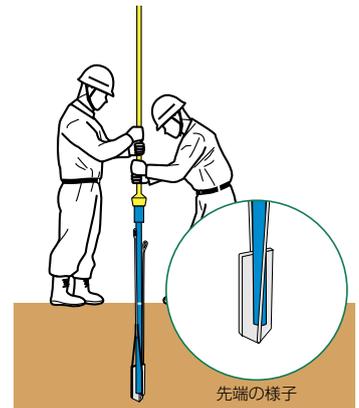
CW-1~2 アンカーの打込み手順 (土壌打込用アンカー)



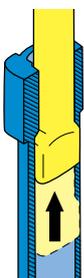
1 直進打ち 打ち始め
ロッドハンマーの短棒をガイドパイプに挿し込み、打ち始めます。



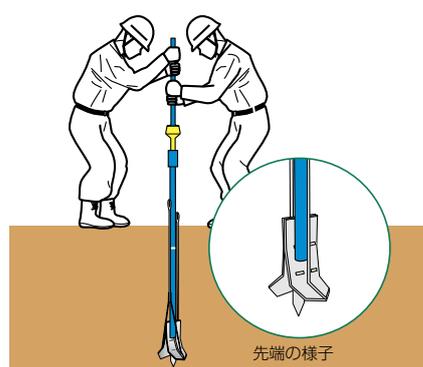
2 ガイドパイプのマークが地面に達したところで直進打ち完了



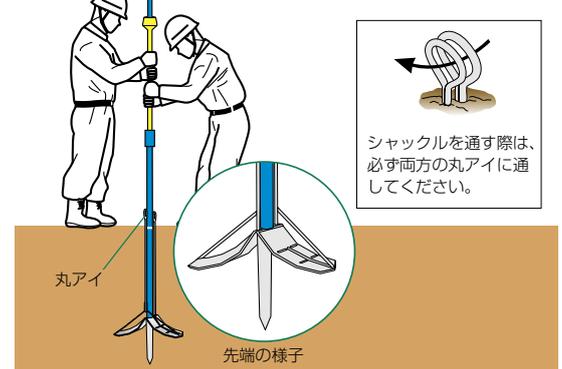
3 ガイドパイプの引き上げ
ロッドハンマーを短棒から長棒に入れ替えて、小刻みに逆叩きし、5cm程引き上げます。



4 展開打ち 打ち始め
ハンマーの長棒をガイドパイプに挿し込み打ち始めます。



5 展開打ち完了
丸アイの高さがそろったら、ガイドパイプを引き抜き、丸アイにシャックルを取付けます。



CW-3~7 アンカーの打込み手順 (土壌打込用アンカー)



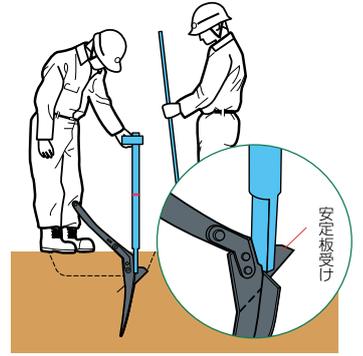
1 まず図の寸法に近い穴を掘ります。



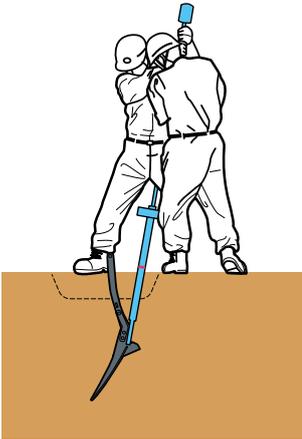
2 穴の端に抵抗板体を図のように支線方向に向けて設置し、打込み棒で安定板受けの上端を叩いて打込みます。



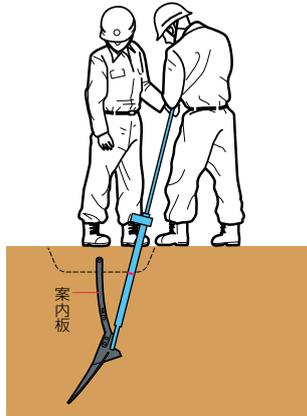
3 安定板受けの上端が穴底に達したところで打込み筒を当てがいます。



4 打込み筒の中に打込み棒を挿入して、さらに打込みます。



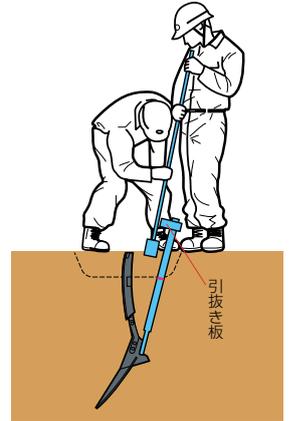
5 案内板の上端が地表から約10cm低い位置になったところで抵抗板体の打込みを終わります。



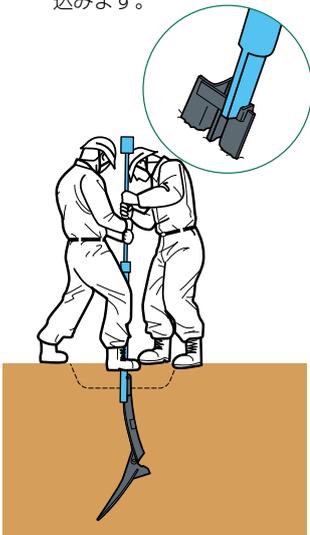
6 打込み筒はそのままにして穴底に出ている案内板に安定板体を嵌め、その後端を叩いて打込みます。



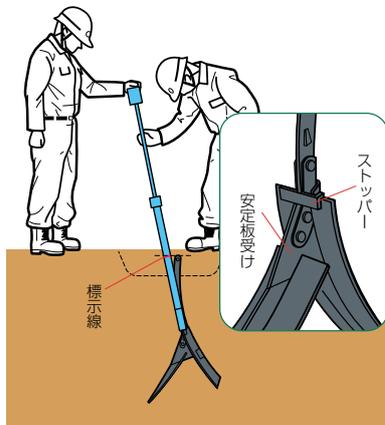
7 安定板体が半分以上地中に没したところで打込み筒を引抜きます。(引抜き板を逆叩きすると簡単に抜けます。)



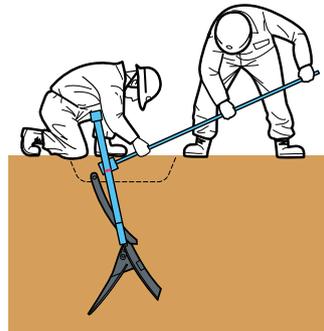
8 打込み筒を安定板体の後端に当てがい、さらに打込みます。



9 打込み筒に刻まれた標示線が案内板の上端に一致したところで安定板の打込みは終わります。(このとき地中では安定板体のストッパーが安定板受けに当たるため、打込み中にも十分手応えを感じます。)



10 打込み筒をそのままの状態にして案内板が樹木の方向に倒れるよう軽く叩き、支線の角度に合せます。(案内板が動かないときは安定板体の打込みが不十分ですから、もう少し打込んでみてください。)



11 打込み筒を抜いて支線ロッドを取付けます。穴を埋め戻して作業は終わります。必ず図のような支線方向でご使用下さい。

